

夜空をそして土岐川河畔を真っ赤に染める

野焼き窯

土岐織部祭りのメインイベントである「野焼き窯」。

美濃焼を今日まで育ててくれた祖先を思い、良質の土が取れる大地に感謝し、美濃焼のさらなる発展を願い、作陶から焼成までを参加者自らの手で作り上げる「野焼き窯」。

今回は、昨年このイベントに参加したある家族の様子と、この野焼き窯を企画し、土岐市の夏の風物詩に育て上げた土岐青年会議所の皆さんのお話を紹介し、野焼き窯の魅力を皆さんにお伝えします。

野焼き窯のあゆみ

写真提供：(社) 土岐青年会議所

昭和55年に、土岐ふるさと祭（現在は土岐織部祭りと改称）のイベントの一つとして登場し、その後、昭和63年から平成6年まで中断されましたが、平成7年に再開され今に至ります。

平成7年 (1995年)

大きな窯での
野焼き窯
〈セラトピア土岐前の河川敷〉



平成10年 (1998年)

窯の数を一気に
百基とする
〈図書館前の河川敷〉



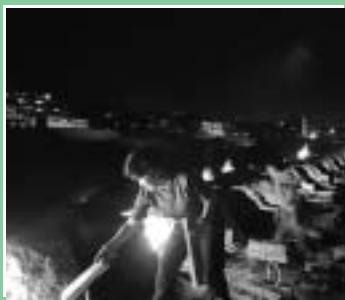
平成13年 (2001年)

花火との競演
〈図書館前の河川敷〉



平成16年 (2004年)

会場を、図書館前から
セラトピア土岐前へ
変更





よしこ 小澤美子さん (左) かずちか 一護君 (11歳) (右)
けいすけ 圭佑君 (5歳) (中央)

ここからスタート

4 いよいよ窯入れ



待ちに待った窯入れの日、雪のかまくらに似ている窯、それが土できています。屋根の部分に、もみがらが載せてあり、その中に作品を入れ下から火で焼くらしい。もみगरに触れて、子どもは大喜び。宝物を埋める感覚で大切にもみがらをかぶせ、うまく焼けますようにと願いを込めました。

1 粘土配布



受け付けで、青年会議所の方の説明を聞く。市図書館で野焼きの本を借り、予習もバッチリ。私は木琴(土琴)、長男は弥生時代の笛、次男は家業が花屋ということもあり、花を生ける器を作ろうと、それぞれ決定している。この四角い粘土を、早く自分たちの思い描く形に制作したくなる。さあー、頑張るぞー!

3 焼成前の作品出来上がり



配布された「野焼きの手順」のマニュアル通り1週間風通しのいい所に置き、窯に入れる前の作品は出来上がり。粘土を乾かす間は、少しずつ変化していく様子を、何となく気になって見てしまい、まるで種から植物を育てるようなおいしい感情になる。少しオーバーだけど自分たちの作品は生きているという感じがして、ちょっと陶芸作家気分になる?!

2 作陶



いよいよ制作。次男は、保育園の粘土遊びの延長のような感覚で手早くできる。長男は、ジャガイモのような形の中に新聞を詰め、穴を開ける。こだわり派の彼は、その穴の大きさ、位置のずれで音階が狂ってしまうと真剣そのもの。私は、久々の土いじりで楽しくて仕方がない。当たり前なことだけど、自分の思い通りになつたりならなかつたりして、それがだいご味で時間のたつのを忘れて没頭しました。

小澤家の野焼き窯

昨年、野焼き窯に参加した小澤さん一家（土岐津町・右頁写真）。小澤家は、「野焼き窯」をどのように楽しんだのでしょうか。美子さんのコメント入りで紹介します。

8 野焼き大賞



野焼き窯大賞作品募集に参加。2、3日後、青年会議所から賞に選ばれたという電話。授賞式にセラトピア土岐へ行く。いろいろな作品が並び、繊細なもの・ユニークなもの・大胆なもの、それぞれ味があり、野焼きらしさを感じる。拍手の中、賞状と記念品をいただき、照れくさいようなうれしいような気持ちになりました。

5 火入れ



少し薄暗くなった土岐川、火おこしがスタート。ひと窯ずつ次々と火がともる。弱い火・強い火、もう個性が出始めている。同じ窯を使うことになった方は、春日井から来たという彫刻を趣味とされている紳士。その作品は芸術でした。野焼きの火加減のことも詳しく説明していただき、野焼きを通じた素敵な出会いに感謝。

7 出来上がり



次の朝、作品の取り出し。割れることもあると聞いていたけど、どれも無事。全体的には黒くなってしまったけれど、味わいがある。弥生時代の笛の音は、船の汽笛のよう。花の器は、短くなった花を生けれそう。土琴は、太さ長さによって音が違う。仕上げに作品を板に取り付け完成。

6 薪をくべる



すっかり暗くなり窯の火の明るさが際立つ。土岐川の流れ、薪の燃える音、一直線に並ぶ炎、いろいろなものが混ざり合って幻想的な世界、う〜ん感動！感動ばかりしてられない。薪をくべる作業。近づき過ぎると熱い！投げ捨てるように行う。火の中央に入ったり届かなかつたりだけど、子どもたちはホント楽しそう。炭で顔が黒くなりながら頑張っている。年代を問わず楽しめる。リピーターが多いのも納得できる。

野焼き窯への思い

～(社)土岐青年会議所の皆さんのお話～

野焼き窯を企画・立案し、育て上げた青年会議所の中心メンバーの皆さんに、野焼き窯への思いをお聞きました。

百基の野焼き窯



平成10年度(1998年度)

ふるさと祭委員会委員長
戸松浩一さん

「百年続くお祭りにはたい「土岐市の夏の風物詩として語り継がれるお祭りしたい!」。われわれの熱い思いは、「野焼き窯百基」の実現に向け、一九九八年、新たな一歩を踏み出すことになりました。

初めての挑戦のため、窯作り、マニュアルの制作など、すべてが手探りの状態で苦労は絶えませんでした。

しかし、JCメンバーをはじめ、実行委員会の皆さん、関係官庁の方々、そして何より参加・協力をいただいた「市民」の皆さんのおかげで、土岐川の川面に歴史の炎が連なつた景色を、実現させることができました。あの日の感動を、今も忘れることができません。

今後も、市民のお祭りとして守り、発展させていきたいと思ひます。「皆さんとともに」作り上げ、後世に残していきたいと考えます。

野焼き窯と花火の競演



平成13年度(2001年度)

ふるさと祭委員会委員長
岡部高志さん

土岐の川面に映える歴史の炎「野焼き窯百基」。この夏の風物詩に、伝統ある花火大会の華麗な花が、参加者の頭上に咲き乱れたならどんなに楽しく、素晴らしいだろう。そんな発想から、企画・運営させていただきました。

しかし、花火大会の主管でもあった土岐商工会議所さんの協力、土岐市観光協会・石黒先輩の助け、JCメンバーの友情が無かつたら実現できなかったと思ひます。

当日は天気がいまひとつで、気まぐれな雷雨に最後までハラハラさせられました。たが、スケールアップした「野焼き窯二百基」と「花火」の夢の競演を楽しむ参加者の笑顔や、幻想的な風景を実感したときは、本当に感動しました。

またいつか「土岐だけでしか味わえない世界に誇れるお祭り」をみんなで作りたいですね。

永遠に続く野焼き窯を目指して



平成17年度(2005年度)

理事長(実行委員長)
土本知宏さん

土岐川河川敷で開催されている「野焼き窯」は、一九九八年から土岐織部祭りのメインイベントとなり、陶器のまち土岐市の「夏の風物詩」として各地に広がっております。

私たちは、百年この野焼き窯を続けて行きたいと考えています。継続することで野焼き窯の炎を見、肌で何かを感じてくれた子どもたちが成人し、次の時代の野焼き窯を、そしてこのまちを盛り上げてくれることを期待しています。そして、百年続いたならきつと「焼き物」が市民の「誇り」の源となり、「郷土愛」溢れる人たちで、まちには活気が満ちていることでしょう。

現在実行委員会では、未来永劫続く野焼き窯とするために、市民参画を推進しており、今年も多くの皆さんとともに企画・立案中です。皆さんも私たちと一緒に「野焼き窯」をつくり上げてみませんか!

「野焼き窯」 参加者募集!

まだ間に合います

8月6日(土)開催の「野焼き窯」に参加を希望される方は、7月15日(金)までに、織部祭り実行委員会事務局(土岐青年会議所内)へお申し込みください。

参加費用

大人(中学生以上) 1,100円(保険料含む)
子ども(小学生以下) 100円(保険料)

第27回 8/6^土 8/7^日

第50回 8/3^水

土岐織部祭り と 花火大会



土岐の夏を彩る「織部祭り」と「花火大会」。

皆さんに楽しんでいただける、さまざまな催しが用意されています。

3日は、午後7時30分から約1時間にわたって、土岐川河川敷から打ち上げられる、およそ800発の打ち上げ花火が、夏の夜空に大輪の花を咲かせます。

6日は、土岐川河川敷で毎年恒例となった「野焼き窯」のほか、皆さんの夢が書かれた1000艘の船が、土岐川を下る「土岐川夢渡し」が行われ、夜空に立ち昇る窯の炎と、川を下る願い船の明かりが、幻想的な世界をつくり出します。

7日は、織部野外音楽祭や土岐踊りなどが行われるとともに、この真夏の祭りを締めくくるグラウンドフィナーレが行われます。

皆さんお誘い合わせの上、ぜひお出掛けください。

織部祭り イベントスケジュール

8月6日(土)

【土岐川河川敷】 ●野焼き窯火入れ式 17:30～
●野焼き窯コンサート 19:00～
●土岐川夢渡し 20:00～

8月7日(日)

【土岐川河川敷】 ●野焼き窯窯出し 6:00～
【駅前ロータリー】 ●織部野外音楽祭 15:00～
●土岐踊り 19:00～
●グラウンドフィナーレ 21:15～

まだまだ盛りだくさんの催しがありますのでお楽しみに!(各イベントや時間は、変更になる場合があります。)

交通規制などのお願い

8月3日・6日・7日は、会場一帯で交通規制が行われますので、ご協力ください。また、路線バスの発着場所の変更もありますのでご注意ください。

詳しくは、織部祭り実行委員会事務局(土岐青年会議所内・☎⑤43741)へどうぞ。